



渋谷区立 代々木 中学校

令和8年7月1日発行

# 学校だより

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/yoyogij>



## 時間と空間の変化を捉え「学び」を創造する

「機会」と「期待」を与え続ける学校教育を目指して

校長 駒崎 彰一

昨年度の学校だより3月号「自由」について考えるで、次のようにまとめました。

「学校は社会の縮図」と表現されることがありますが、実際のところ学校は「実社会」とは大きく違い、特定の年齢層が集団で生活する特殊な構成になっています。特に、中学校は13歳から15歳という、子供から成長して大人へ変わりゆく過程で心身ともに大きく変化する「思春期」の集団という「特殊性」があります。単に授業を中心とした知的な教育活動だけを展開していくのではなく、中学校は、この思春期集団を「自律」に導くという側面も持ちあわせています。このようなことから「社会的自由」が必要であり、生徒を含めた学校に関するステークホルダーの理解が必要になります。

この3月号では、いわゆる理想論だけを展開しましたが、実際この「思春期」という「特殊性」のある集団をどのように育成していくのか。「思春期に入った子どもにどう接したらいいのか」「これからの時代を見据え、中学生にどのような学習環境を構築していけばいいのか」学校だけではなく、家庭・地域でも悩みの多いことと思います。

これまでの日本の中学校教育では、「校則」と「受験」というプレッシャーにより思春期集団を束ねていました。「校則を守り、受験のための勉強をしないと良い高校・大学に入れない」というプレッシャーを与え続けて、逸脱を防いできました。さらに学習については、本物の思考力等を問うものではなく、反復訓練で正確性を向上させ「記憶力」を問うという「ルーティンワークを正確にこなす」といったスキルを育成するものでした。これは、大量生産・大量消費の時代には適していても、デジタルやAIに向かっていく、これからの未来社会には明らかにミスマッチです。

このような中で先月6月の新刊『世界の一流は「子ども」に何を教えているのか 冷泉彰彦（クロスメディア・パブリッシング）』に行きつけの書店で偶然出会いました。

海外の教育トレンドには、多くのヒントがあります。中でも「思春期とは、人生のなかで最も成長する時期であると同時に、最も激しく試行錯誤がされる時期でもある。」として、思春期に向き合うために、海外の事例から次の3つのヒントがあげられています。

- ① あえて失敗を経験させ、乗り越える力を身につけさせる  
粘り強く解決に向かう「問題解決能力」や失敗を乗り越える「回復力（レジリエンス）」を意図的に体験させることが必要。
- ② 年齢相応の枠に閉じ込めず、早熟（得意分野を磨き、尖らせる）へ向かわせる  
得意分野（個性）の伸長を図る「伸ばす教育」が大切。年齢相応の枠を超えることが集団からの逸脱ではなく、思春期特有の「爆発的な力を成長に結びつける」というアプローチが必要。
- ③ 介入しなくても、ひたすら見つめ、見守り続ける  
介入せずに「意味のある試行錯誤」を見守ることで、しっかり当事者として考え、そこから本質を見出すスキルを身につけることが必要。

「結果」ではなく「機会」と「期待」を与え続けることで「実行力」や「自己管理能力」を育成することが重要であるとまとめています。

我々「大人」と言われる世代が中学生であった時代と、現在の中学生在が学んでいる時代、そして、現在の中学生在が社会の最前線に巣立っていく未来社会。

この時間と空間の変化をしっかりと捉え、学びを創造していきたいと考えています。

「機会」と「期待」を与え続けること……これからも続けていきます。

## 令和 10 年度修学旅行に向けて（1 年生）

毎年3年生で実施する「修学旅行」の準備は1年生からスタートします。1年生の「秋」には、旅行の手配をする「旅行取扱事業者」の選定をするとともに「宿泊先」の予約を進めていきます。令和10年度、つまり現1年生の修学旅行については、学びのテーマや行先等から、生徒主体で企画提案して決定していく方向で準備に着手しました！ これまで、本校を含め多くの中学校では、保護者代表と担当教員の「選定委員会」にて少人数で決定している学校が多い現状です。昨年度、1年生全生徒（現2年生）で「応募してきた旅行取扱事業者」のプレゼンを受け、自分たちで「行きたい」と感じた提案に投票できる仕組みで選定を行い、平和学習を中心に学ぶ「沖縄」の修学旅行としました。令和10年度（現1年生）の修学旅行について、生徒主体で企画提案をしていく取組を「総合的な学習の時間」で展開していきます。この「機会」を大切にしたいと思います。



## ゲストティーチャーによる性教育（3年生）

グレイス杉山クリニック SHIBUYA (<https://grace-sugiyama.jp/>) 院長の産婦人科医である岡田 有香 先生 ([https://www.instagram.com/dr.yuka\\_okada/](https://www.instagram.com/dr.yuka_okada/)) より、保健体育で学ぶ学習内容をベースにして専門的知見から、「思春期後期における性と人間関係について理解を深め、相手を尊重し、責任ある判断の重要性を踏まえた行動について考える。」というテーマでお話をいただきました。Authenticに学ぶ「機会」となりました。



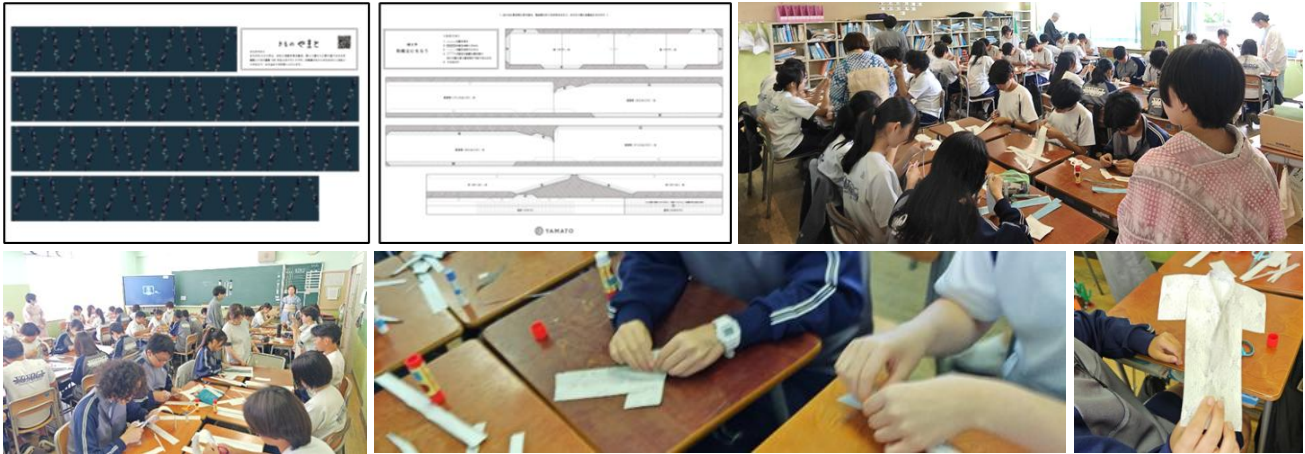
## ゲストティーチャーによるキャリア教育（2年生）

本校の卒業生で「KAZ SHINAGAWA」(<https://www.instagram.com/kazshina/>) として世界的に活躍されており映像プロデューサーの品川 一治（しながわ かずはる）さんより、職場体験を前に「各界で活躍している職業人からの講演会」として、お話をいただきました。毎年、卒業生から職場体験を前に「キャリア教育（働くということ）」について講演をいただいております。代々木中学校の伝統ってスゴいなあと感じています。これもAuthenticに学ぶ「機会」です。



## きもの（和装）伝統文化について学びを深める（3年生）

昨年度、ゆかた着付授業でお世話になりました渋谷区内に本社のある「株式会社やまと」さんの本年度最初のコラボレーション授業を3年生で各クラス1時間行いました。「和裁士になろう」というペーパークラフト（紙工作）で「きもの」の構造を学びました。これもまた Authentic に学ぶ「機会」となりました。



## 職場体験学習（2年生）

6月24日（水）から3日間にわたり、キャリア教育の一環として「職場体験」学習に取り組みました。地域を中心に「40」もの事業所にて体験させていただきました。ありがとうございました。今後も地域・家庭・学校が協調した教育活動を展開していきたいと思っております。まさに Authentic に学ぶ「機会」です。



表彰

女子バレーボール部 渋谷区中学校バレーボール夏季大会 第3位  
 第2ブロックバレーボール総合体育大会 第2位(都大会出場)  
 男子バスケットボール部 渋谷区中学校バスケットボール選手権大会 第2位  
 卓球部 渋谷区中学校卓球選手権大会 男子シングルス」第3位 長谷川航琉 第5位 重松 岳  
 陸上競技部 渋谷区ジュニア陸上競技大会 男子中学1年100m 第1位 海老根朋宏  
 野球部 令和8年度 東京都中学校野球選手権大会第2ブロック予選 決勝進出(都大会出場)

		日	月	火	水	木	金	土
今月の 予定	7 月				1	2	3	4
					歯科講話(1) 三者面談始		朝礼・安全指導 教育指導課訪問	
		5	6	7	8	9	10	11
				各種委員会			生徒朝礼	
		12	13	14	15	16	17	18
			避難訓練		三者面談終	大掃除	TLD	
		19	20	21	22	23	24	25
		初台ふれあい まつり ラムネ販売	海の日	夏季休業日始				
		26	27	28	29	30	31	

		日	月	火	水	木	金	土
来月の 予定	8 月							1
		2	3	4	5	6	7	8
								学校閉庁日
		9	10	11	12	13	14	15
		学校閉庁日	学校閉庁日	山の日	学校閉庁日	学校閉庁日	学校閉庁日	学校閉庁日
		16	17	18	19	20	21	22
		学校閉庁日						
		23	24	25	26	27	28	29
								別校祭
		30	31					
	西原キャンパス 開校式							

8日から16日まで引越作業のため校内に入れません。